

— きのこ産地へ新アイテムの提供、地域へは新商品と新事業の提案 —

研究の目的

きのこ生産者の健全な経営を持続させるため、①高単価で販売可能な有用きのこ類の栽培化と品種開発を目指す。②既存開発品種の栽培特性を活かしつつ、栽培上の課題を克服して生産拡大につなげる。

研究方法

① 本県に自生し、フランス料理等に使われる高級きのこを栽培する



ポルチャーニ茸の1種



モリーユ茸の近縁種



トリュフの1種

ポルチャーニ茸

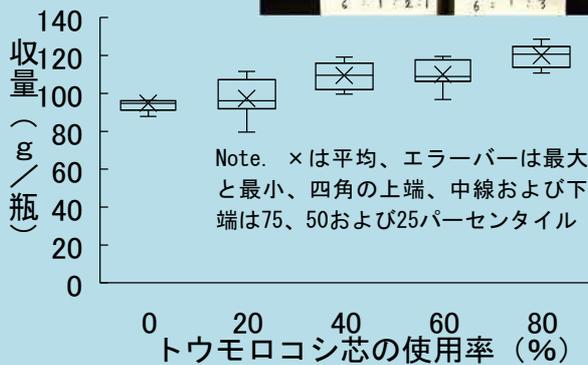
菌糸成長に必要な養分を調査中



② 県が開発した品種の栽培特性を見極めて、増収技術を確立する

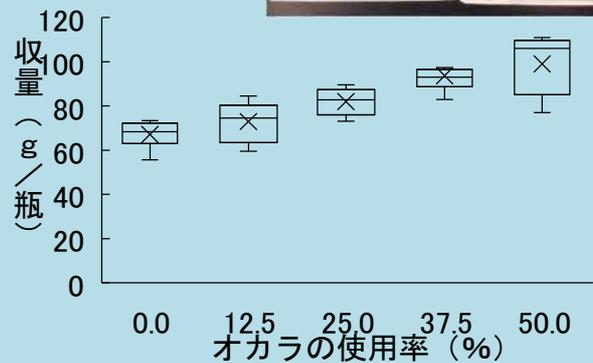
エノキタケ品種

栽培主原料のおが粉をトウモロコシの芯に換える割合が大きいほど収量が増加した



ヒラタケ品種

栄養材に使用されている小麦糠をオカラに換える割合が大きいほど収量が増加した



研究の成果の活用

- ❑ きのこ品種を提供して生産拡大を進め、多品目生産による経営の安定化を図る
- ❑ 地域特産品開発、有利販売を支援する



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当グループ：きのこ・特用林産科

研究担当者：富川康之・森本涼介

問い合わせ先：0854-76-3815

E-mail：chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名：きのこ生産における収益増加技術の緊急改良（研究期間：R5～R7）

研究の背景・目的

- 廃菌床のリサイクル利用技術を開発し、県内で排出される廃菌床の全量を処分する。
- 美味しまね認証基準である「廃菌床の適正処理」を達成する。
- きのこ生産施設周辺の病害虫発生源を解消して、生産を安定させる。
- 廃菌床の高付加価値化によって、きのこ生産者の収入を増加させる。
- 廃菌床の多用途利用、カスケード利用を提案して、地域内で木質資源の有効利用を図る。

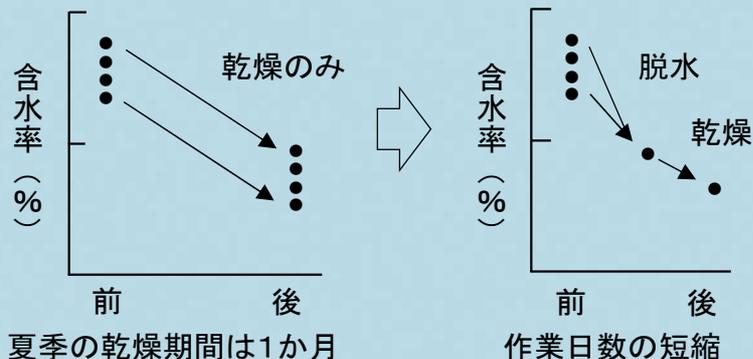
研究方法

1. 廃菌床の脱水方法の検討

廃菌床の含水率はバラツキがあり、乾燥後の廃菌床も含水率にバラツキがみられる。乾燥前に脱水することで、乾燥期間が短縮し、または乾燥作業を省略することができ、均一に低含水率となってリサイクル原料としての品質が安定する。



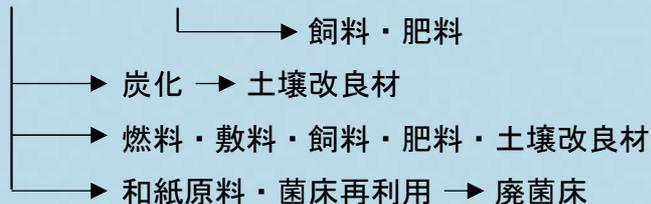
ハウス1棟分の廃菌床



2. 廃菌床のカスケード利用方法の検討

乾燥させた廃菌床を粉碎して、各種用途を開発する。

廃菌床 → 油吸着材 → ペレット化 → 燃料・敷料



乾燥廃菌床の粉碎作業

研究成果の活用・今後の研究計画

- 簡易で、作業負担と環境負荷の小さい廃菌床利用条件を検討する。
- 農業分野、畜産分野と連携しながら研究を進める。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : きのこ・特用林産科

研究担当者 : 森本涼介・富川康之・陶山大志

問い合わせ先 : 0854-76-3815

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 木質未利用資源の高価値・再利用技術に関する研究 (研究期間 : R7~R9)

研究の背景・目的

製材品利用の他に複数の用途が知られている樹種、短期間で収穫が可能な樹種、スギ・ヒノキ林内で生産可能な有用植物を利用して森林経営の多様化を進める。研究では対象植物の栽培技術と、萌芽再生力を考慮した収穫方法を検討する。

研究方法

1. 育苗試験

これまでに得られたサカキの育苗技術を参考にして、ヒサカキ（しぶき）の育苗条件を検討する。

調査項目：発芽率、挿し木発根率、施肥量、成長量、得苗率

2. 植栽試験

ポット苗の安定生産が可能となったコシアブラ、サカキの植栽方法と植栽後の管理内容を検討する。

調査項目：遮光率、活着率、剪定方法、収量

3. 萌芽成長量調査

自生クロモジと植栽クロモジの伐採後、萌芽成長による資源回復程度を推定し、伐採計画を検討する。

調査項目：萌芽数、幹長、枝数、葉量、相対照度

4. 気象害・病虫害被害対策

各樹種の枯死・衰弱、品質低下を引き起こす被害について、原因究明と被害回避策を検討する。

調査項目：被害実態、生育環境、耕種の防除、薬剤防除

5. 母樹育成

各樹種の試験用母樹の中から生産用母樹を選抜する。

調査項目：種子量、発芽率、挿し木発根率、得苗率



育苗中のコシアブラ



育苗中のサカキ



コシアブラの遮光栽培試験

研究成果の活用・今後の研究計画

特用樹の「育苗」と「生産」の手引きを作成し、森林所有者・林業事業者等に情報提供する。造林樹種の選択肢を拡大して森林経営の安定化を図る。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : きのこ・特用林産科

研究担当者 : 森本涼介・富川康之・陶山大志

問い合わせ先 : 0854-76-3815

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名：有用広葉樹の栽培化の推進（研究期間：R7～R9）